

江戸川区地域エネルギービジョン 第4回策定委員会 要旨

日時：平成19年11月12日（月）14時00分～16時00分

場所：タワーホール船堀 302 会議室

1. 開会

- 事務局より挨拶。
- 岡島委員長より挨拶、配布資料の確認。

2. 事例紹介（自転車利用環境の整備）

- 事務局（土木部計画課）より説明。

3. 議事内容

（1）エコタウンえどがわ推進計画素案の検討

1) 第1章 江戸川区は「日本一のエコタウン」を目指します

【トピックスについて】

- 「江戸川区の地球温暖化問題」に江戸川区だけでなく全体を指している内容もあるので、整理して欲しい。

【削減目的の記載について】

- 何のためにCO₂を削減するのかを記載したほうがよい。
- 日本一のエコタウンについて強調して欲しい。

2) 第2章 目標

【目標のグラフの表現について】

- 合計のグラフでなく、部門ごとの内訳を示して欲しい。
- 削減のイメージが湧くと思うので、2050年の半減したグラフを挿入して欲しい。

【目標数値の設定について】

- 第1次目標は京都議定書の90年比-6%と混同しやすいので、分かりやすく表記して欲しい。

【目標（内容）の設定について】

- あくまで目標なので、数値に依存するのではなく、5章のような中身で特色を出した方がいいのではないか。
- 自転車の取り組みなどを取り入れて、江戸川らしさを出したらいいのではないか。
- 持続的な開発、持続的なライフスタイルなど、この計画の目的を明記して欲しい。

【もったいない運動の取り組み例について】

- 区民1人1日1kg削減の内訳を示して欲しい。

3) 第3章 取り組みと効果

【取り組み項目の追加】

- 地中熱ヒートポンプを追加して欲しい。
- 新しい技術の対策を追加してはどうか。

【取り組み項目の表現について】

- 項目を羅列するだけでなく、家庭、学校、会社などでの1日の流れに取り組みをまとめて欲しい。
- 各項目における削減量を1つに絞らずに、表示可能な場合は、複数表示して欲しい。

4) 第4章 協働を支える区の取り組み

【施策の追加】

- 環境学習に省エネについての項目やeラーニングを追加して欲しい。
- 区民向けの施策が多いが、事業者向けの施策も増やして欲しい。
- 緑のまちづくりに関連して、街路樹の整備も追加して欲しい。
- 高効率給湯器のように太陽光発電にも税制措置などのインセンティブをつけて欲しい。
- 高効率給湯設備の導入は、複数の施設をまとめると効率も上がるので、そのことも検討して欲しい。
- ESCO事業は初期投資が大きいため、環境に配慮した設備導入等を広く考えた方が良い。
- もったいない運動のPR方法を工夫してもらいたい。

【施策の表現について】

- 一般区民には、おおよそで良いのでいくら得するかという金額を表記した方が分かりやすい。
- 具体的な施策の実施内容（どこでどのように実施するか）を示して欲しい。
- BDF の利用拡大だけでなく、収集拡大もあわせて考えて欲しい。

【質問】

- 建築物環境計画書における一定規模以上の建物とは、何か想定している規模があるのか。

5) 第 5 章 今後の検討事業

【検討事業について】

- 本章の位置づけが掴みづらいので、章題または章の位置を変更するべきではないか。
- 省エネ住宅の性能を教える制度をつくって欲しい。

【質問】

- コミュニティファンドの運営の仕方を教えて欲しい。

6) 第 6 章 計画の推進

【推進体制について】

- 町内会などから 1 名ずつ選出して、エコタウンの推進に参加できるシステムをつくって欲しい。
- 計画を具現化するためには、エコセンターだけでは達成できないため、事業者などの様々なセクターが活躍できるように工夫する。

7) その他

- 計画のダイジェスト版を用意して欲しい。
- パブリックコメントに向けて、素案と合わせて言葉遣いなどをやさしくしたパブリックコメント用の資料を用意して欲しい。
- 資料編を減らしたほうが良いのではないか。

(2) 事務連絡（今後のスケジュール等）

- 事務局より次回策定委員会の連絡。